



プログラマブル・パターン発生器シリーズ デモ機貸出し実施中！

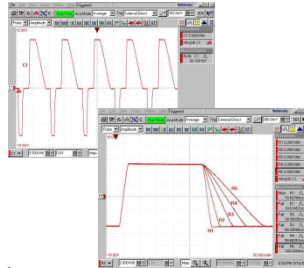
PSPL のパターンジェネレータには、6つのモデルがあります。
12000,12010,12020,12040,12050,12060 NRZ信号などを出力するパターンジェネレータとして使われています。

NRZとRZパターンの出力には、12000,12010,12020がお勧めです。デジタル回路のクロック源やジッタ耐力試験などにお使いいただけます。
立上り/立ち下がり時間などの制御や、チャンネル・コンバインで 1kΩ終端で40Vの出力振幅を得たい場合などには、12000 PPG を使うと良いでしょう。

高速シリアル通信の伝送特性をデバイス、ケーブル、基板間通信、光伝送などの信号源として利用可能な12040/12050/12060などもございます。

MODEL 12000

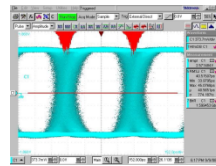
立ち上がり可変/各CHダブルパルス/波形合成



MODEL 12000 PPGは、プログラム・パターンと立ち上がり/立ち下がり時間を制御することが可能なパルス発生器です。ジッタ挿入機能もあるため、デバイスのタイミング余裕度の試験に最適です。2chモデルもあります。

MODEL 12010

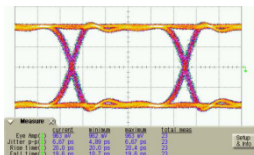
800Mbps/1.6Gbps パルス発生器 ジッタ付加OPあり



MODEL 12010/12020 PPGは、プログラム・パターンができるパルス発生器です。ジッタ挿入機能もあるため、デバイスのタイミング余裕度の試験に最適です。

MODEL 12050

12.5Gbps パターン発生器 ジッタ付加OPあり

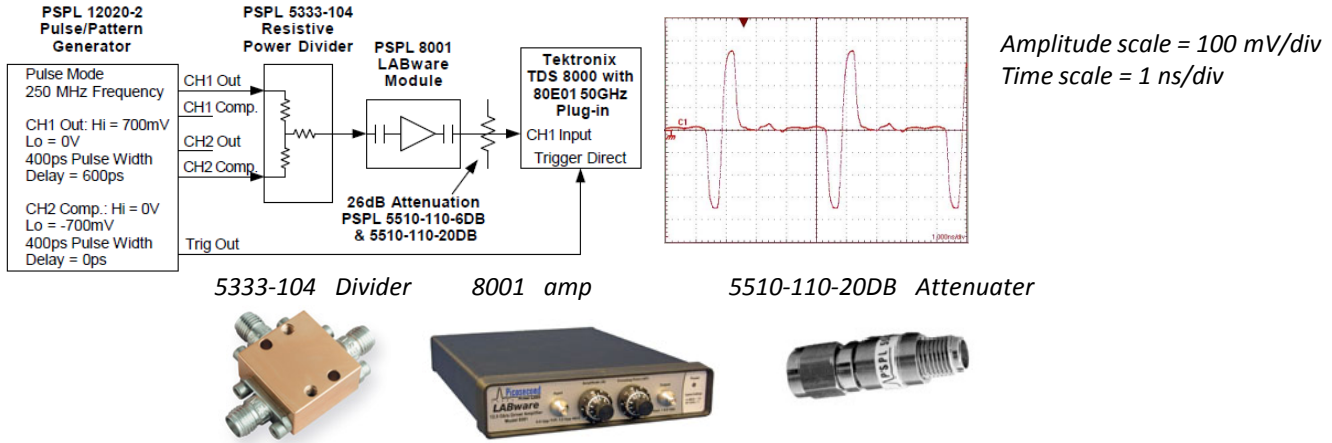


MODEL 12050 PPGは、プログラム・パターンができる12.5Gbpsデータパターン発生可能なパルス発生器です。光デバイス、高速シリアル通信、SERDESの伝送特性試験に最適です。

モデル	データレート	出力電圧	出力範囲	立上り時間	PRBS	特長	特長	岩通計測 デモ機あります
Model 12000	1mHz - 165MHz	10V/20V	±10V/±20V	2.5ns	5-14	16,384bit	立ち上がり/立ち下がり時間可変機能。非常に遅い変化を出力。	Model 12000-2
Model 12010	15MHz- 800MHz	2.5V	-2V, +3.3V	125ps	5,6-15 23,31	16Mbit	任意パターン作成可能。ジッタ変調、SSC可能。	
Model 12020	15MHz- 1.6GHz	2.5V	-2V, +3.3V	125ps	5,6-15 23,31	16Mbit	任意パターン作成可能。ジッタ変調、SSC可能。	Model 12020-2-J
Model 12040	750MHz - 8GHz	2V	-2V, +3V	25ps	7,15 23,31	512kbit	正/負データ出力。任意パターン作成可能。	
Model 12050	750MHz - 12.5GHz	2V	-2V, +3V	25ps	7,15 23,31	512kbit	正/負データ出力。任意パターン作成可能。	Model 12050-J
Model 12060	1.25GHz - 20GHz	2V	-2V, +3V	25ps	7,15 23,31	4Mbit	正/負データ出力。任意パターン作成可能。1.2ps-rmsジッタ。	
Model 12070	30MHz- 30GHz	1.5v	-1.5v +2.5v	25PS	7,9,11,15 23,31			

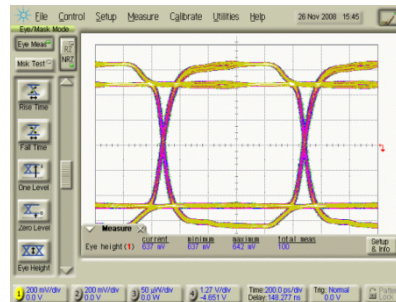
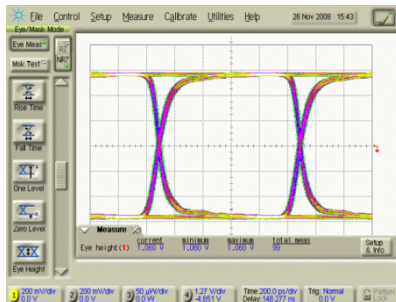
バイポーラ信号の生成方法

- (1) 2ch両方の出力を 同じビットレートか同じパルス繰り返し周波数にします。
- (2) MODEL 5333 デバイダに2つのチャンネルからの出力を結合させ、パターンを合成します。
- (3) MODEL 8001 で最大8 Vp - p振幅を得ることができます。
- (4) MODEL 5333 アッテネータを挿入してオシロスコープで観測しています。



プリエンファシス信号の生成

- (1) MODEL 12010/12020のパターン発生器の2つのチャンネル出力を結合させます。
- (2) Ch 1デレイ = 0ps Ch 2デレイ = xx ns にします。
- (3) 同じデータタイミングで出力生成します。
- (4) PSPL のデバイダもしくはピックアップティーと組み合わせてプリエンファシス効果を得ます。

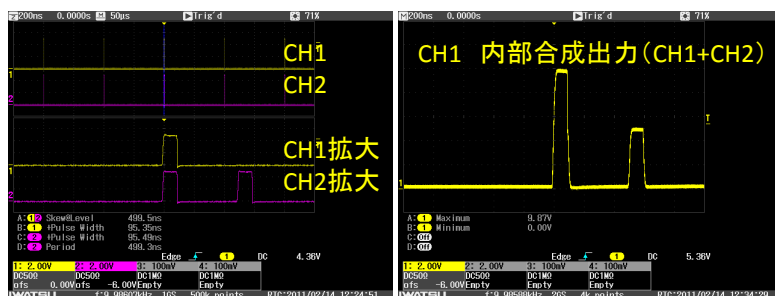


Model12000の波形合成機能

下左図は、ch1のパルスとch2のダブル・パルスを出力しています。これをCH1とCH2で合成すると右図の様にCH1と同じタイミングで入ってきた波形は加算され倍の振幅を得ています。このように、model12000シリーズは、波形合成やダブル・パルスタイミングを容易に作り出すことができます。

Model12000のゲートパルス機能

CH1/CH2出力波形を外部入力で出力コントロールできます。下図の例は、CH4信号がローレベルの時にCH1/CH2/トリガ出力がコントロールされている様子がわかります。



お問い合わせ先: 東京都杉並区久我山1-7-41 岩通計測株式会社 TEL:03-5370-5474